

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 |
|----|---------|---|
| 8 | 関 明美（3） | <p>1. 選挙運動用ポスター掲示場一覧のデジタル化について</p> <p>選挙運動用ポスターの掲示場は、前回の富士市議会議員選挙の場合、434か所に上る。立候補者は選挙管理委員会から渡された紙の掲示場一覧を頼りに、自らポスターを貼るか、ボランティアにポスター貼りを依頼することになる。しかし、掲示場一覧は地図の縮尺が大きく、手渡された紙の地図だけで掲示場を特定するのは、その地域の土地勘がない者にとっては大変困難なものとなっている。掲示場の付近に学校や病院など目印となるものがあれば場所の特定に寄与するが、そうではない山の中や入り組んだ住宅地などは紙の地図を見ただけでは特定できず、グーグルマップなどの地図アプリを利用する方がほとんどであると推測される。</p> <p>この問題について、私は静岡大学の学生2名と共に課題解決に取り組んだ。彼らは議員インターン生として、若者と政治を結ぶNPO法人ドットジェイピーから派遣され、2025年8月から9月までの2か月間、議会や各部署において市政の課題解決に向けた取組を行った。選挙ポスター掲示場一覧のデジタル化には、掲示場の位置を特定し、その緯度と経度を調べる必要があった。インターン生は434か所の緯度と経度を調べ、リスト化することでデジタル化を実現した。このデータを例えばグーグルマップに取り入れればマイマップで見ることができる。マイマップではピンの色などを自分の好みに編集することもできるので、各候補者の使いやすいように応用が可能である。このデータをオープンデータとし、広く市民に公開し、活用するべきと考え、以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 選挙運動用ポスター掲示場一覧の公開方法を伺う。 (2) これまでにポスター掲示場の場所について分かりにくいなどの市民の声はなかったか伺う。 (3) 富士市長選挙のポスター掲示場一覧と富士市議会議員選挙のポスター掲示場一覧では掲示場の数や場所が違うが、その理由は何か伺う。 (4) 選挙管理委員会に既に提示したポスター掲示場一覧のデータをオープンデータとし、公開するべきと考えるが見解を伺う。 |